No. 183

長文読解 ULTIMATE CHEAT SHEET

物語文・エッセイの読み方（心情・場面転換）

物語文は主題文がない代わりに、人物・場面・心情の変化で進む。心情は行動と表情で描かれる。読みのツボと語彙をまとめて押さえる。

Web版はこちら

ここだけ3行

1. 人物・時・場所をメモし、場面転換のサインで区切る
2. 心情は「行動・表情・セリフ」から読み、変化を追う
3. エッセイは体験の後の気づき（I realized）に主張

◆ 物語文を読む6原則 6

☐ 1 人物を整理する

登場人物の名前・関係（親子・友人・先生）をメモ。he / she が誰を指すかを常に確認。人物が3人以上なら簡単な相関図を書く。

☐ 2 語り手の視点を確認

I で語る一人称か、he / she で語る三人称か。一人称なら語り手の気持ちは直接書かれやすく、他の人物の気持ちは推測になる。

☐ 3 心情は描写から読む

物語では「悲しかった」と書かずに、行動・表情・セリフで心情を見せることが多い。描写を心情に変換するのが設問の中心。

> She stared at the floor and didn't say a word.
> 床をじっと見つめ、一言も話さなかった→落ち込み・気まずさ

☐ 4 心情の変化を追う

最初と最後で気持ちがどう変わったか（不安→安心、怒り→理解）と、変わったきっかけの出来事が最頻出の設問。

☐ 5 時間の流れと回想を区別

had＋過去分詞（過去完了）は、話の基準の過去よりさらに前の出来事。回想でよく使われる。いつの話かを取り違えると内容一致で失点する。

> She remembered the day she had first arrived in Tokyo.
> 彼女は初めて東京に着いた日のことを思い出した（had arrived＝回想）

☐ 6 結末と題名をつなぐ

結末の場面や最後のセリフに、物語のテーマが込められていることが多い。題名の意味を問う設問は結末から考える。

◆ 場面転換のサイン

場面が変わったら区切り線を引く。読みのまとまりはここで切れる。

種類	サインの例	チェック
時	The next morning / Years later / That night	どれだけ時間が経ったか
場所	Back at home / When she arrived at the station / Meanwhile（一方そのころ）	誰がどこへ移動したか、どこの場面か
人物	Just then, a stranger appeared / Her father came in	新しい人物の登場
回想	had＋過去分詞（さらに前の出来事） / She remembered / Looking back	いつの出来事か
記号	空行 / ＊＊＊ / 章番号	大きな場面の切れ目

◆ 表情・動作→心情 変換表 16

描写を見たら、右の心情に変換する。前後の出来事で最終判断。

描写	意味	表す心情
☐ sigh	ため息をつく	落胆・疲れ・安堵
☐ frown	眉をひそめる	不満・困惑
☐ blush	顔を赤らめる	恥ずかしさ・照れ
☐ grin	歯を見せてにっと笑う	うれしさ・得意・いたずら心
☐ shrug	肩をすくめる	無関心・あきらめ
☐ tremble	震える	恐怖・緊張
☐ stare at	じっと見つめる	驚き・集中・怒り
☐ glance at	ちらっと見る	気になる・気まずさ
☐ mutter	小声でぶつぶつ言う	不満が多い（文脈で判断）
☐ whisper	ささやく	秘密・遠慮など（文脈で判断）
☐ bite one's lip	唇をかむ	悔しさ・こらえる
☐ clench one's fists	こぶしを握る	怒り・決意
☐ burst into tears	わっと泣き出す	悲しみ・安堵の爆発
☐ hesitate	ためらう	迷い・不安
☐ avoid someone's eyes	（人と）目を合わせない	罪悪感・気まずさ
☐ his face lit up	顔がぱっと明るくなる	喜び・期待

◆ 心情の変化を表す語 10

語	意味	よくある前後の流れ
☐ relieved	ほっとした	不安・心配 → 無事だと分かる
☐ disappointed	がっかりした	期待 → 期待外れの結果
☐ ashamed	恥じている	自分の行動を後悔
☐ embarrassed	気まずい・恥ずかしい	人前での失敗
☐ frustrated	いら立った	思いどおりにいかない
☐ grateful	感謝している	助けてもらった後
☐ jealous	嫉妬した	他人の成功・人気
☐ moved	感動した	思いがけない親切
☐ guilty	罪悪感のある	うそ・約束を破った後
☐ determined	決意した	失敗・励ましの後

目から鱗

心情問題は「本文の証拠」で選ぶ：選択肢の心情は、本文の描写から言える範囲のものだけが正解。「悲しんでいる」としか言えない場面で「激しく怒っている」「深く絶望している」を選ばない。**強すぎる感情は言い過ぎのダミー**になりやすい。

◆ 比喩・皮肉を読む 3

☐ 1 直喩（like / as）

「〜のように」と2つを比べる。何のどんな性質を伝えたいのかを考える。

> The classroom was as quiet as a library.
> 教室は図書館のように静かだった。

☐ **2 隠喩(メタファー)**

like を使わず「AはBだ」と言い切る。字面どおりに読むと意味が通らない時は比喩を疑う。

> Her words were a knife in my heart.
> 彼女の言葉は私の心に刺さるナイフだった(深く傷ついた)。

☐ **3 皮肉(アイロニー)**

言葉の皮肉は、字面とずれた(多くは逆の)意味を伝える。状況と言葉が合わない時に起きる。言い方・状況から本当の気持ちを読む。

> "Great, another rainy day," he groaned, putting away his soccer ball.
> 「最高だね、また雨か」と彼はサッカーボールを片づけながらうめいた(実はうんざり)。

◆ エッセイの主張の探し方 3

体験型のエッセイは「体験→気づき→一般化」の流れが多く、主張は後半に来やすい。※論説型は冒頭で主張することも。

☐ **1 気づきの表現を探す**

I realized / It was then that I understood / I learned that / Looking back の後が筆者の主張の中心になりやすい。

> It was then that I realized how much my grandmother had done for me.
> そのとき初めて、祖母が私のためにどれほど尽くしてくれたかに気づいた。

☐ **2 一般化の主語に注目**

I(自分の体験)から we / people / everyone(人一般)に主語が変わる所は、筆者の主張に切り替わるサインのことが多い。

☐ **3 最終段落で確認**

最後の段落で体験の意味をまとめることが多い。冒頭の問いかけ・エピソードと照らし合わせる。

◆ やりがちなミス 3

☐ ✕ ~~回想の場面を今の出来事として読む~~
○ **had+過去分詞や remembered で回想を見抜く**
時の取り違えは内容一致の定番の罠

☐ ✕ ~~自分ならこう感じる、で心情を選ぶ~~
○ **本文の描写を根拠に選ぶ**
問われるのは登場人物の心情

☐ ✕ ~~皮肉のセリフを字面どおりに受け取る~~
○ **状況と言葉のずれから本心を読む**
雨にうめきながらの Great! はうんざりの意味

◆ 確認テスト

1 When she heard the news, she let out a long sigh and smiled. 彼女の心情は?
a 恐怖　b 怒り　c 安堵　d 嫉妬

2 He avoided his mother's eyes and said nothing about the broken vase. 彼の心情は?
a 誇り　b 退屈　c 感謝　d 罪悪感

3 回想の場面であることを示しやすい形は?
a had+過去分詞　b 現在進行形　c will+動詞の原形
d be going to

4 エッセイで筆者の主張が来やすいのは?
a 最初の固有名詞の後　b 会話文の中　c 数字の後
d I realized の後

◆ 解答

1 安堵 ため息+笑顔=ほっとした
2 罪悪感 目を合わせない+黙る
3 had+過去分詞 過去のさらに前
4 I realized の後 体験→気づき

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳(PDF印刷)・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート
(全439本・無料)